

会越国境 広谷川御神楽沢

栗原

【日時】 2010年10月23日～24日

【メンバー】 L 栗原・田邊・大田原

ずっと心に留めていながらも、なかなか実現しない山行がある。私にとって、御神楽沢はそんな山行の一つだった。そもそもの始まりは7年前、沢を始めてまだ2年目の年に御神楽沢に声をかけてもらった事だった。それには参加できなかった。それからというもの、事あるごとに企画するが全て計画倒れ、同じく計画倒れのムサ沢と合わせると、御神楽岳を目指したのは10回は越えるだろう。「御神楽の呪い」と言われながらも、今回ようやくその封印を解くことが出来た。

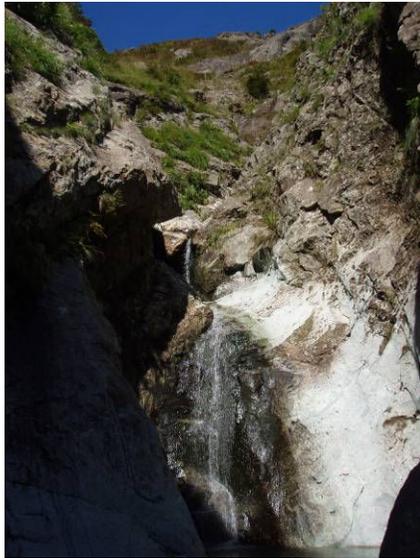
10/23 初日もそこそこ時間がかかりそうなので、7:30出発。しばらく登山道を行くが、前を歩いていた地元の方らしき2人が登山道からそれたと思ったら、木にびっしりなめこが生えていた。倒木じゃなくて立木に生えているなめこを見るのは初めてだ。その先で我々もなめこの木を発見、3人分のなめこ汁分をゲットした。まだまだ他にもありそうだが、先も長いのでなめこ採りは終わりにして、先を急ぐ。

ム沢出合までは、1か所ゴルジュがあるくらいで、1ピッチの距離だ。が、出合の手前に、たった今落とされたばかりのような臭くて大きな落とし物が…。ふと横を見ると、カモシカの死骸が横たわっていた…。その先にも大きな足跡が点々とあり、みんなで笛を吹いたりガチャを鳴らしたりして、警戒しながら歩いた。

ム沢を分けると、本格的なゴルジュが始まる。記録ではずいぶん濡れる箇所があるので、今回の私の一番の核心はひそかに「寒さ」だと思っていた。しかし10月下旬ともなると、水量もだいぶ減っている。そして嬉しいことに、今日は気温が高めで、よく晴れているのだ。胸までつかるゴルジュやずぶ濡れになるシャワークライムも、凍えずに通るでき、気分は明るい。Dルンゼを順調に超えると、30m滝が現れた。ここは右から巻くが、途中岩登りのようになり、悪い。その先、2段滝を過ぎると、再び登れない滝と



なる。最初、ザイルを付けて右のスラブに取り付くが、途中が立っており、ハーケンを



打とうとするも、適当なリスがなくハーケンが入らない。フリーで越えるのはためらわれるため、戻って右の灌木帯から巻き始めた。最初の滝を越えた辺りで懸垂を始めるが、途中からその先の滝が見え、どうにも登れなさそうだ。結局登り返してザイルをしまい、その先まで高巻くことにした。灌木が下まで届く所まで巻くと、沢は川原状になる。すぐに奥壁が見渡せる天場適地へと到着した。

思ったよりだいぶ早く到着したので宴会グッズの不足が懸念された。が、そこは数少ない泊り山行にかける大田原さんの意気込みで、薪は十分に集められ、軽量化といいながらもトマらしいつまみのレパトリーで、楽しい宴となったのだった。

10/24 薄曇りの中、出発。大田原さんが先頭でガンガントイ状滝や大岩を登っていくので、それに遅れまいと続く。小1時間ほど登ると、ちょっとした岩場となった。ここからザイルかなあと大田原さんと話していると、「まだ大丈夫だよ」と田邊さんが登って行ってしまおうとした。「行くならザイル引いて行ってください！」と慌ててザイルの末端を渡すと、案の上、2〜3歩が悪い。ハーケンを打てるリスもないため、田邊さんはバイルを草付きに刺して中間支点にして登って行った。その上は少し緩くなって右に曲がっているため、いったんここでザイルをしまい、ブッシュのある所まで上がった。そこで再びザイルを出して、田邊さんがリード。やはり支点を取れるリスがなく、ノーピンで登って行った。3P目は大田原さんリード、左上してブッシュで支点を取った後右上する。4P目を栗原、5P目を田邊さん、6P目を大田原さんで、傾斜が緩くなった。もう大丈夫かなとザイルをしまったら、その上に少し急なスラブ滝が出てきて、右の滑りそうな草付きスラブから左の灌木帯へ空身で登った。





その上は緩いスラブとなっており、息を切らしながら登っていくと、最後は少しブッシュを漕いで登山道に飛び出した。前日に踵を痛めた田邊さんは、大事をとってそこで待っていると言うので、大田原さんと二人で御神楽岳を往復しに行く。山頂では、大田原さんと握手、ムサ沢右岸尾根から踏めなかった山頂へのリベンジが漸くできた。ゆっくりと周りの景色を堪能したいが、下山も長いため早々に退散、一般登山道とは言え悪い栄太郎新道をひたすら下って湯沢出合に到着、帰りは登山道をキョロキョロと寄り道をしながら駐車場に戻った。

【グレード】4級

【行程】10/23 駐車場7：30～湯沢出合8：25～ム沢出合9：25～川原c1 13：00

10/24 c1 6：00～登攀終了9：15～登山道10：15～御神楽岳10：25～湯沢出合13：10
～駐車場14：35

【地図】御神楽岳